

# 稲光会報

第41巻 60号  
 平成30年7月20日発行  
 編集 早稲田大学稲光会  
 発行者 植竹 清  
 題字 滝口 宏  
<http://wasedafencing.com>



狩野、佐々木、矢口先生、竹田、小野（いずれも4年） 総会に出席したOB、OGの面々



北原名誉会長



植竹新会長



中村前監督をねぎらう北原名誉会長

## 新会長、新監督就任！ 全日本女子工へ優勝の 祝勝会兼ね総会を開催

10年ぶりに稲光会長が交代しました。新会長は副会長兼幹事長を長年務めた植竹清会員（昭和39年第一政経卒）、4月9日大隈会館で開催された総会で承認されました。北原輝久前会長は名誉会長となりました（慶田浩一副会長は相談役）。総会は矢口先生をはじめ会員26名、部員30名が出席しました。今回の総会は全日本女子工へ団体優勝を兼ねていましたがこれに役員改選、監督交代披露、新コーチ紹介と盛り沢山の内容でした。



【植竹清新会長挨拶】  
 初めに北原輝久名誉会長に心から御礼申し上げます。北原名誉会長は学生時代から稲光会の仕事を任せられ、幹事長、副会長を経てH20年4月会長に就任、一昨年早稲田アリーナ募金では各部に先駆けての目標達成、またいつも会員同士および現役員との交流を心掛け、難問が起るとにこやかな笑顔で直ぐ解決され、今日に至りました。60年間本当に有難うございました。

さて振り返って見ますと金子誠2代目会長は30、50周年記念式典、竹村3代目会長は大学創立125周年募金、北原4代目会長は早稲田アリーナ募金を成功させました。私がやることは3年後の2021年創部75周年記念事業をつつがなく実施することです。将来に向けて会員及び現役部員が喜ぶために何をやらねばよいか新役員と共に知恵を出し合います。また会員の皆様からのご意見もお待ちしております。そして皆様75周年記念事業に対して何ができるか考えていただけたら幸いです。今後とも会員の皆様のご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## OB&OGの近況報告

### 昭和56年卒 原田 充

#### ●私の近況

稲光会の皆様、ご無沙汰しております。今年度より稲光会の会計幹事を引き受けております。慣れない仕事ですがよろしくお願い致します。（年会費よろしくお願ひします！）さて、近況ですが海老名に住んで早27年、2人の子供も独立して現在両親と我々夫婦4人で平穩無事に暮らしております。私も来年2月で還暦を迎え、いよいよ人生第二ステージに突入します。

学院の2年生時、創部30周年に出席した事がこの間の出来事に感じます。



今回はフエンシングとは関係ありませんが「AIAI会」という学院時代のクラスメイト5組の集まりをご紹介します。私たちが学院生は3年間クラス替えがなく、そのまま大学へ進むので付き合いは長く深いです。5、6年ほど前から「自分たちだけでなく夫婦で会おうよ」と誰となく言い出してスタートしました。職業は建設会社、大学教授、商社、元東京電力社員など多彩です。この歳になりまして、「病気/健康」「老後」「介護」「子供や孫」「趣味/旅行」などが話題の中心になります。相性が良いのか皆とても仲が良く、また各夫婦の力関係なども見ているだけで面白いです。初めは年数回程度の食事だけだったのですが、最近

は年1回2泊3日で旅行にも行き始めています。過去日帰りでは吉本新喜劇、上野西洋美術館、横浜クルーズ、中華街、釣り堀、神楽坂食事など。宿泊では那須、御殿場、金沢、伊勢神宮などへ行きました。写真は今年5月に伊勢志摩へ旅行した時のものです。（前列左端が原田、後列右から2番めが妻です）

今年還暦の年なので、各自「赤いちゃんちゃんこ」ならぬ「赤Tシャツ」を購入しお揃いで食事をしました。幹事は持ち回りですが、来年あたりはそろそろ海外旅行も実現しそうです。

いつまでもこの会が続くと良いと思いますが、誰か離婚したらこの会どうなるのでしょうか（笑）

### 昭和27年卒 越 茂樹

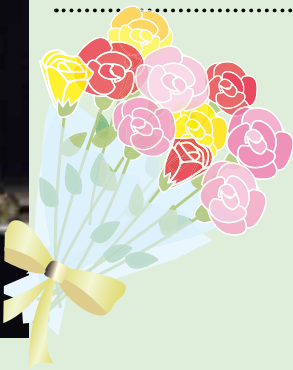
#### ●今年もコンサートを開催

ムツシユ・コシと仲間達「歌は友達コンサート2018」が5月27日千葉県浦安コンサートホールに



於いて開催されました。40年近く前に浦安男性合唱団を結成され、今日に至っています。

今年89歳になられても衰えない美声で会場のムツシユ・コシの女性ファンを魅了しました。背筋を伸ばして歌われる姿には本当に感激しました。いつまでも元氣にお歌い下さい。



# 内田敏朗新監督 抱負を語る



【略歴】S52早稲田高等学校卒業。S57法学部卒業と同時に東京芝浦電気(現 株 東芝)入社。米国駐在を含めて主に海外照明事業に携わり、今年5月未定年退職。現在は、定年再雇用制度を利用し、勤務継続中。

このたび監督に就任した内田です。中村前監督を始め歴代の名監督のご功績を前に、身の引き締まる思いです。一方、誇れる競技歴も無い私が監督を引き受けたことに、驚かれた方も多いと思います。競技スポーツセンター(旧体育局)が策定した早稲田アスリートプログラムに依ると、体育各部署は「リーダー」としてふさわしい人間となるための教育がなされる組織」と定義づけられています。競技スポーツである以上「勝利を目指す」、フェンシング界における地位の向上と確立」は当然とし、しかし同時に「学生の本分は学業にあり、文武両道を極め早稲田大学の卒業生として自信と誇りを持って社会に巣立っていきける人間形

成」が、我が部に課せられたミッションと理解しています。学生スポーツは、昨今「厳しく従わせる指導」の限界が露呈し、「学生の自主性を重んじ、社会のリーダーに育てる教育の場」へと移りつつあります。部員たち自身で考え、部員たちによる自主的な活動によって、結果的に試合でも好成績につながっている例が、近時報告されています。とは言っても、大学生にはまだまだ幼さも残っており、危うさを感じさせる面もあります。ですから、彼らに対し大人として接しながらも子供として見守り、部全体を組織的にマネージメントすることが、この時代の監督のあり方と信じて引き受けさせていただきます。先輩方の絶大なご支援をよろしくお願いいたします。



全日本女子エペ団体  
試合中の才藤(右)

## WASEDA CLUB ワセダクラブの活動

■東日本大会  
(5月 駒沢)  
＜小学生男子エペ＞  
優勝 申濤(小6)  
＜中学生・女子サーブル＞  
3位 山崎妃奈乃(中2)  
＜小学生女子エペ＞  
3位 岩橋英莉花(小5)



【夏季合宿】  
ぜひ諸先輩のご指導をお願い致します。  
平成30年9月14日(水)～21日(水)  
★場所 シュライン新宅  
〒389-241 長野県飯山市豊田7024  
★電話 0269・65・2138

## 2018 年前半の戦績

### ■関東学生フェンシングリーグ戦 (5月8～15日 駒沢オリンピック公園体育館)

＜男子フルレ＞  
早稲田大学○45 - 24 ●拓殖大学  
早稲田大学●39 - 45 ○法政大学  
早稲田大学●37 - 45 ○明治大学  
早稲田大学○45 - 43 ●日本大学  
早稲田大学●34 - 45 ○中央大学  
※1部 4位

＜男子エペ＞  
早稲田大学○45 - 39 ●慶應大学  
早稲田大学●32 - 45 ○専修大学  
早稲田大学●37 - 45 ○法政大学  
早稲田大学●32 - 34 ○中央大学  
早稲田大学●32 - 45 ○日本大学  
※1部6位 入れ替え戦へ

＜男子サーブル＞  
早稲田大学○45 - 42 ●日本体育大学  
早稲田大学○45 - 31 ●法政大学  
早稲田大学○45 - 40 ●日本大学  
早稲田大学●41 - 45 ○中央大学  
早稲田大学○45 - 37 ●専修大学  
※1部準優勝 王座決定戦へ

＜女子フルレ＞  
早稲田大学●38 - 45 ○日本大学  
早稲田大学●37 - 45 ○日本体育大学  
早稲田大学○45 - 33 ●日本女子体育大学  
早稲田大学○37 - 34 ●法政大学  
早稲田大学○44 - 39 ●専修大学  
※結果 1部 3位

＜女子エペ＞  
早稲田大学○45 - 24 ●専修大学  
早稲田大学○45 - 33 ●法政大学  
早稲田大学○45 - 27 ●明治大学  
早稲田大学●43 - 45 ○日本大学  
早稲田大学○45 - 31 ●慶應大学  
※結果 1部 優勝 王座決定戦へ

＜女子サーブル＞  
早稲田大学○45 - 13 ●青山学院大学  
早稲田大学○45 - 37 ●立教大学  
早稲田大学○45 - 15 ●学習院大学  
早稲田大学○45 - 40 ●日本女子体育大学  
早稲田大学○45 - 34 ●慶應大学  
※結果 2部 優勝 入れ替え戦へ

■入れ替え戦 (5月16日)  
＜男子エペ＞  
早稲田大学○41 - 34 ●日本体育大学  
※結果 1部残留  
＜女子サーブル＞  
早稲田大学●44 - 45 ○専修大学  
※結果 2部残留

■王座決定戦 (6月9日)  
＜男子サーブル＞  
早稲田大学○45 - 36 ●愛知工業大学  
早稲田大学●39 - 45 ○中央大学  
※結果 準優勝  
＜女子エペ＞  
早稲田大学○30 - 20 ●関西学院大学  
早稲田大学●40 - 41 ○日本大学  
※結果 準優勝

## 新入部員紹介

①学部②出身校③種目④抱負⑤戦績



中島美月(ナカジマミツキ)

①スポーツ科学部②群馬県立沼田女子高等学校③エペ④五冠達成に貢献する⑤全国高等学校選抜フェンシング大会・女子エペ団体3位



村上万里亜(ムラカミリア)

①スポーツ科学部②愛媛県立三島高等学校③サーブル④関カレ、インカレで団体優勝すること⑤平成29年度全国高等学校総合体育大会・女子サーブルベスト16



伊藤悠貴(イトウユウキ)

①スポーツ科学部②三重県立津高等学校③エペ④エペ団体のメンバーに入りチームに貢献し、近代五種での世界大会で入賞する⑤平成29年度近代五種全日本選手権・四種の部2位



高原真央(タカハラマコ)

①人間科学部 ②福井県立武生高等学校 ③フルレ ④インカレ個人で優勝 ⑤平成29年度全国高等学校総合体育大会・女子フルレ出場



服部美優(ハットリミク)

①文学部②千葉県立東葛飾高等学校③サーブル④文武両道⑤平成29年度全国高等学校総合体育大会・女子サーブル 出場



青木貴雅(アオキタカマ)

①スポーツ科学部②静岡県立沼津西高等学校③サーブル④インカレ個人で優勝⑤平成29年度全国高等学校総合体育大会・男子サーブル7位



増田陽人(マスタヨヒト)

①商学部②岡山県立岡山大安寺中等教育学校③エペ④インカレ個人で優勝⑤平成29年度 全国高等学校総合体育大会・男子エペ優勝

今年度の新入部員です。  
応援よろしくお願いします!



## 【前期講評】

今年のリーグ戦は、女子エペが日大に星を落とされたものの、その他4校をまったく寄せ付けず、見事に優勝することができました。しかし王座決定戦では、同じ日大に最後の1本で敗れて準優勝にとどまりました。リーグ戦で日大は、早稲田が大勝した明治と慶應に敗れており、このあたりを研究することによって秋のリベンジにつなげていけるとと思います。

一方男子サーブルは、リーグ戦と王座決定戦で準優勝に輝くことができました。エースの茂木が、怪我に苦しみながらもサーブル陣を引っ張ってくれ、メンバー全員が力を合わせ



王座決定戦男子サーブル表彰式の青木(1年)